

# 闇バイト恐ろしさ学ぶ

## 防サミット 中高生参加、啓発動画も

【川崎】 若者に闇バイトの恐ろしさを伝えようと、県や県警などは7日、「闇バイト・犯罪加担防止サミット」を川崎臨港署で開いた。川崎市内の高校1校と中学校5校の生徒計12人が参加し、真剣な表情で耳を傾けた。

生徒たちは警のキャラクター「リンゴちゃん」が出演する啓発動画を鑑賞した。スマートフォンで高額バイトの募集を見て気軽に

手を出した結果、強盗や特殊詐欺に加担させられる内容だった。

「ぼれたら分かってるだろうな」「家族の情報も個人情報も預かっている」となると驚き、闇バイトから抜け出せなくなる状況を学んだ。その後、対策について話し合い、「スマホに怪しいメールやダイレクトメッセージが来ても開かない」「ネットの情報をつのみにせず、自分で対処でき

「友人が闇バイトに手を出してしまった場合はどうするか」などのテーマで意見を出し合った  
＝川崎臨港署



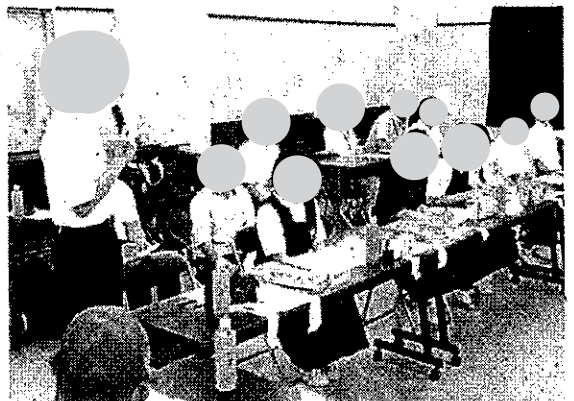
ないと感じたら大人に相談する」といった意見が次々と上がった。また、県立大師高校3年生で生徒会長を務める星優希

さん(17)が、自身が制作した「甘い言葉に騙されないで」と書かれた啓発ポスターを壁に贈呈した。市立大師中学校3年生の小田川美羽さん(14)は「自分だけでなく家族も危ない目に遭うと知って怖かった。今日学んだことを学校の朝会や学年集会で話したい」と意気込んだ。(松尾 拓)

毎 日 (神奈川版)

# 怪しいメール開かず

## 闇バイト対策 中高生討論会



川崎臨港署は7日、「闇バイト」に応募したとされる男が腕時計店に押し入る強盗致傷事件が川崎市で起きたことなどを踏まえ、闇バイトへの対策をテーマにした地元中高生による討論会を同署で開いた。生徒からは「怪しいメールやサイトは開かず、親に相談したい」といった感想が上がった。討論会では、警員が「即日即金、高額収入などの文書に気をつけて」と4コマ漫画を基に生徒に説明。「犯罪組織からいように使われ、使い捨てにされる」と危険性を強調した。生徒は「一度手を出すと抜け出せない」と分かった。最後に参加者が「甘い言葉にだまされないで」と自身で書いたポスターを仲戸川博幸署長に手渡した。市立大師中の生徒会長で3年の小田川美羽さん(14)は取材に「思っていた以上に怖いものだと知った。学年集会で皆に伝えたい」と話した。

# 「闇バイト」の危険性 中高生が話し合う

川崎でサミット



闇バイトへの注意ポスターをつくり、署に寄贈した県立大師高の星さん(左)＝川崎市で

うちには七電話詐欺などの犯罪に深く加担してしまう恐れを学び、「どんな闇バイト対策ができるか」などを話し合った。同高2年の須本晴奈さん(16)は「あやしいメールは開かず、あやしいサイトは開かないよう心がけている」と注意点を呼びかけた。生徒たちからは「友達が開バイトに手を出そうとしたら止める。それでも気に相談する」「闇バイトの恐ろしさを実感できるよ。文章ではなく生徒が集まる場で伝えていきたい」など熱心な提案が相次いだ。同高3年の星優希さん(17)は「甘い言葉にだまされないで」と訴える啓発ポスターをiPad(タブレット)で作成し、仲戸川博幸署長に贈呈した。署では今後の啓発活動に生かすという。県警少年育成課によると、七電話詐欺にからみ未成年が検挙されるケースは増えており、昨年県内では検挙された中には中学生もいたという。(中山洋子)

交流サイト(SNS)を通じて犯罪に加担してしまう「闇バイト」の危険性を、地元の中高生たちが話し合う「闇バイト・犯罪加担防止サミット」が7日、川崎市の川崎臨港署で開かれた。

川崎臨港地区の五つの中学校と県立大師高校の生徒たち計十二人が参加した。警員が手作りの四コマ漫画で、身近なスマホに潜むリスクを説明。生徒たちは、アルバイト感覚で手を出す

など熱心な提案が相次いだ。同高3年の星優希さん(17)は「甘い言葉にだまされないで」と訴える啓発ポスターをiPad(タブレット)で作成し、仲戸川博幸署長に贈呈した。署では今後の啓発活動に生かすという。県警少年育成課によると、七電話詐欺にからみ未成年が検挙されるケースは増えており、昨年県内では検挙された中には中学生もいたという。(中山洋子)